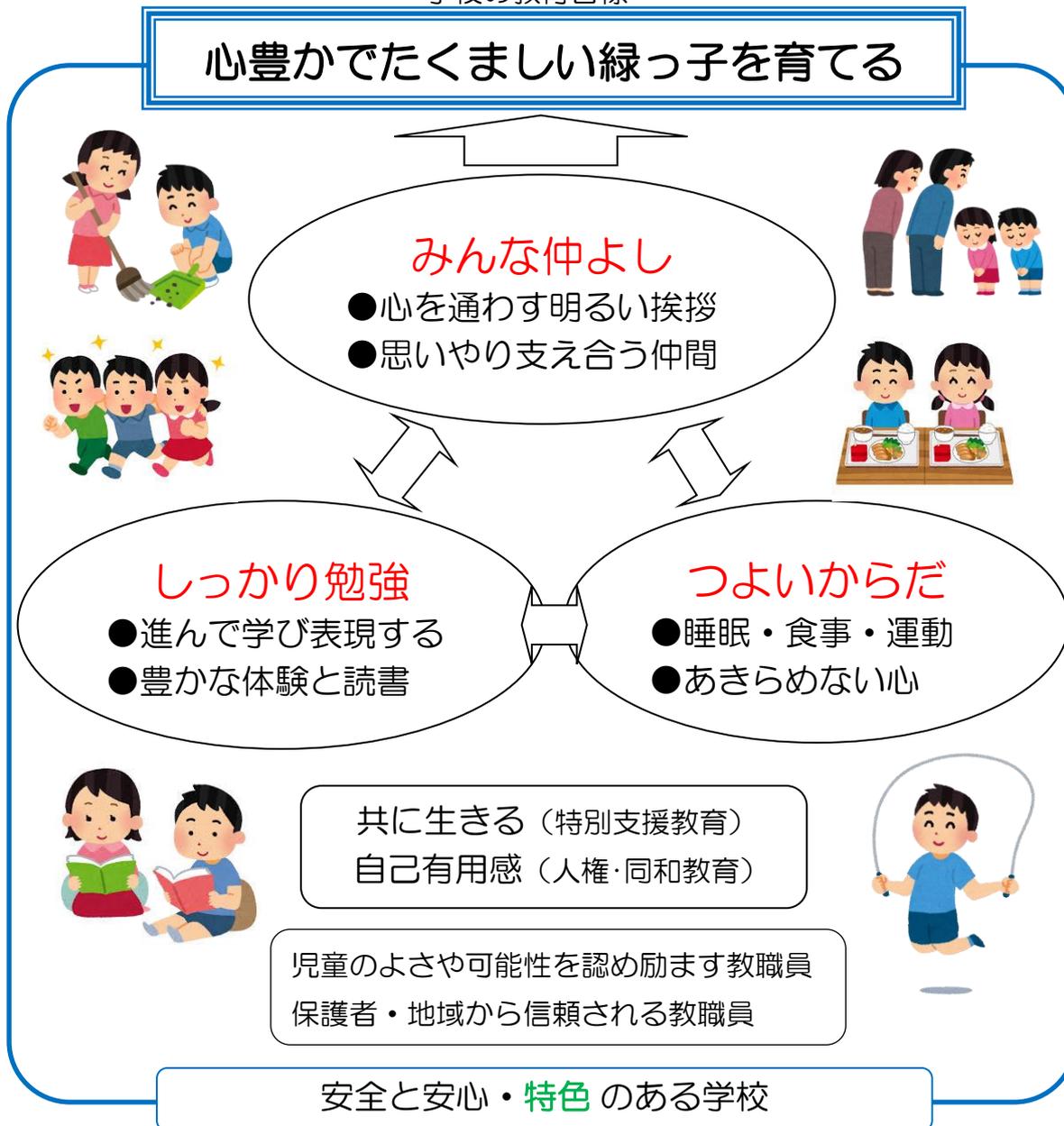


令和6年度 教育計画						学校番号 088	
愛南町立緑小学校							
校長名	岩崎 明子	学級数	4 (1)	児童数	15	教職員数	7

学校の教育目標

心豊かでたくましい緑っ子を育てる



教育力

学校運営協議会
PTA

貢献



家庭 ・ 地域 ・ 関係団体



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点 目 標</p>	<p>1 確かな学力の定着と向上</p> <p>(1) ICTを積極的・効果的に活用し、個に応じたきめ細かな指導に努め、主体的・対話的で深い学びの充実を目指した授業改善に取り組む。</p> <p>(2) 読解力の育成に向け、全教科で言語活動の充実を図り、読書習慣の育成に努める。</p> <p>2 生徒指導の徹底と健全育成</p> <p>(1) 児童一人ひとりと向き合う時間を確保し、人間関係づくりを基盤とした生徒指導の充実を図る。</p> <p>(2) 「挨拶・明るく・あきらめない」を合言葉に、進んで明るい挨拶ができ、目標に向かって最後まで頑張る児童の育成に、家庭・地域と連携して取り組む。</p> <p>3 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化及び働き方改革の推進</p> <p>(1) 個々の強みを生かした参加型研修や外部講師を活用した幅広い研修を取り入れて資質・能力の向上を図り、積極的に学校運営に関わる組織づくりを行う。</p> <p>(2) 業務改善とワークエンゲージメントについて共通理解を図り、教職員が楽しく仕事に取り組み、自ら学ぶ意欲を高める。</p> <p>4 特色ある学校づくり</p> <p>地域の文化や伝統を継承し、人的・物的環境を活用したコミュニティ・スクールの取組を充実させ、児童の愛郷心を育てる。</p> <p>5 豊かな心を育てる教育の推進</p> <p>(1) 「考え、議論する道徳」の授業の充実を図り、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念等の道徳心を培う。</p> <p>(2) 豊かな自然や地域の教育力を生かした体験活動を通して、自尊感情を高める。</p> <p>6 人権・同和教育の充実</p> <p>全ての教育活動の中で、いじめや差別をなくす意欲や技能、態度を育てる。</p> <p>7 特別支援教育の推進</p> <p>(1) 共生社会の形成に向けて、交流や共同学習を積極的に実施する。</p> <p>(2) 特性や教育的ニーズに応じた指導・支援計画を作成し、全教職員で共通理解を図るとともに専門機関と連携・協働し、効果的な指導・支援に努める。</p> <p>8 健康教育の推進</p> <p>(1) 体育科の授業や放課後の体育的活動を充実させ、パーフェクト自己新記録賞の活用やえひめ子どもスポーツITスタジアムへの積極的参加に励む。</p> <p>(2) 学校給食を通して、望ましい食習慣を身に付けさせる。</p> <p>9 安全・安心な学校づくりの推進</p> <p>児童の安全を第一に、安心して登下校・学校生活を送ることができるよう、家庭や地域と連携した防災・減災教育への取組を推進する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管 理 運 営</p>	<p>1 人的管理</p> <p>(1) 長時間勤務の是正に向けて、ICTの活用や会議・計画案等の精選、地域人材を生かした学校支援体制を整え、働き方改革を推進する。</p> <p>(2) 風通しのよい職場づくりに努め、一人ひとりが活躍できる協働集団を目指す。</p> <p>(3) 服務規律を遵守し、教育公務員としての立場を自覚して、信用の保持に努める。</p> <p>2 物的管理</p> <p>(1) 施設・設備の安全点検を定期的実施し、学校安全の徹底を図る。</p> <p>(2) 豊かな心を育む、機能的で美しい環境づくりに努める。</p> <p>3 事務管理</p> <p>(1) 城辺共同学校事務室と連携・協働して、正確で迅速な事務処理に努める。</p> <p>(2) 校務分掌の明確化と適正化を図り、事務処理の効率化を目指す。</p> <p>(3) 情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報の適切な保管・管理に万全を期す。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<p>豊かな自然や文化、地域からの手厚い支援という特徴・強みを最大限に生かしながら、児童の愛郷心や探求心を育むとともに、主体的な学習態度を育て、たくましく生きる力を育成していく。また、コミュニティ・スクールが定着し、家庭や地域と連携・協働した多様な活動が行われている。交流活動や地域行事への積極的な参加など、地域を元気づけるだけでなく、児童の自己有用感の育成にもつながっている。</p>